

# '11 北海道サケネットワーク 総会議事要録

'11. 11. 5  
旭川市花月会館

## 会員の出席

会員数	一般会員 14,	特別会員 11,	計 25 会員
出席会員	一般会員 4,	特別会員 4,	計 8 会員

## 開会の挨拶

北海道サケネットワーク  
代 表 浦 野 明 央

## 議 事

### 【報告事項】

1. '11 年度 活動報告 表の他ネットワークも更新している。
2. 会員の異動 阿部周一氏の入会
3. 会員からの報告 (協議終了後に実施)

### 【協議事項】

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| 1. '10 年度会計報告              | 承認 |
| 2. '10 年度会計監査報告            | 承認 |
| 3. '11 年度予算執行状況中間報告        | 承認 |
| 4. '12 年度活動計画並びに '12 年度予算案 | 承認 |
| 5. その他 役員任期は2年で、改選は次年度。    | 承認 |

( 各 項 目 の 内 訳 詳 細 に つ い て は 議 事 資 料 を 御 覧 下 さ い 。 )

### 【資 料】

実施要領  
議事資料  
2011 会員名簿  
参加者名簿  
[会員報告] 北海道区水産研究所

## 〔会員報告〕

### とかち・帯広サケの会（千葉ようこ氏）

第25回目の放流を5月5日に行う。300名参加。地元が多かった。中学8校、小学1校で育てた15,000尾を放流。売買川の湧水環境に不安。土現でも協力を約束。毎年、自然産卵親魚の放流をしていたが、今年は行っていない。

### 北海道サーモン協会（高橋寿一氏）

設立7年目、法人47、個人150。減少状況で財政は大変になっている。いろいろな活動をしているが、先日はカナダからの研修生を受け入れ、日本の子ども達との交流を通して、子どもらに刺激を与えたと思っている。

### 日本釣振興会北海道地区支部（山田直佳氏）

卵埋設などを実施。釣りの立場だが、自然サケの造成に協力しようと、埋設卵などで頑張っている。

### 北海道区水産研究所（石黒武彦氏）

4月に組織が改組になり、さけます資源部として業務を行っている。東日本災害で打撃を受けたが、こちらでもいろいろな対応が行われている。ふ化槽も岩手、宮城には無償貸与（3年間）を行っている。岩手から宮城は地盤沈下がひどい。来週から第2次調査を行い協力することになっている。懸案だった千歳川の規制解除は、地元の市民団体、釣りの団体の協力もあって、サクラマスに大きな混乱もなく推移している。その時協力した4団体が中心になり2010年5月に「千歳川上流保護対策協議会」が発足、2011年5月に規約、役員が決まり正式に活動を始めている。活動内容は、自然観察会、河川清掃など。現在、千歳市では保護条例改正で自然環境保護区域の改正作業をしている。

### 札幌市豊平川サケ科学館（有賀望氏）

存廃問題のその後：市では今年5月に正式に存続を決定。施設の老朽化をどうするかはまだ示されていない。管理者制度で来年から4年間運営される。我々財団も継続したいと思っている。今年3月に、建設協会から北海道サーモンビレッジ構想が示されたが、このままでは実施出来ないと市が回答したと聞いている。

### 札幌市立東白石小学校（山本未央氏）

昨年はポンプのトラブルや病気で放流出来なかったもので、と来春の放流に期待をしている。学習を通して、命のこと、環境のことを学ばせたいと進めている。

# 2011 北海道サケネットワーク会議〈実施要項〉

1. 主 催：北海道サケネットワーク
2. 主 管：大雪と石狩の自然を守る会（さけサポーターの会）
3. 後 援：旭川市・あさひかわ自然共生ネットワーク※予定
4. 期 日：2011年11月5日（Sat）～6日（Sun）
5. 開 催 地：旭川市
6. 会 場：花月会館（旭川市3条7丁目3・4仲通 電話 0166-22-1101）
7. 参 加 費：2000円
8. 日 程：5日 北海道サケネットワーク役員会（13：00～13：15）  
北海道サケネットワーク総会（13：15～13：45）  
北海道さけ会議・サケを考える市民の夕べ（14：00～17：00）  
サケを語る交流会（18：00～20：30）  
6日 サケ遡上うおっちんぐ（8：15～9：30）  
サケと川探訪ツアー（9：30～14：00）

1. 役 員 会：時間…13：00～13：15  
場所…花月会館4F平安の間  
内容…総会打合せ・総会提案承認事項  
運営…サケネット事務局
2. 総 会：時間…13：15～13：45  
場所…花月会館4F平安の間  
内容…総会議事・トピック・報告  
運営…サケネット事務局

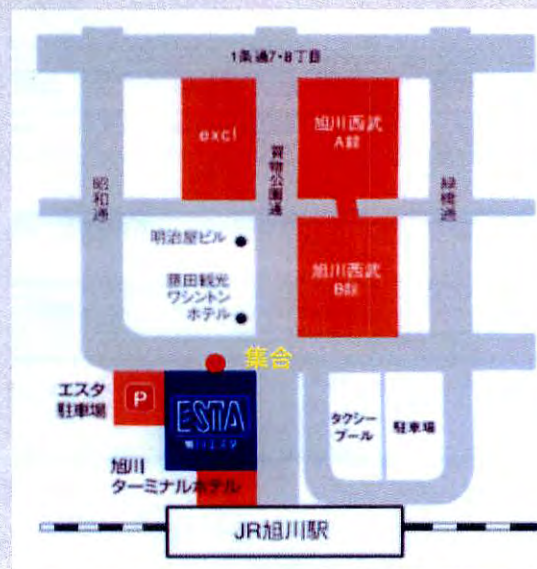
1. 概 要：市民オープン行事  
時 間…14：00～17：00  
会 場…花月会館4F平安の間  
参加費…無料（資料代500円）
2. プログラム：受付…13：45～14：00
  - ①開会あいさつ…寺島一男（大雪と石狩の自然を守る会代表）
  - ②メッセージ…浦野明央さん（北海道サケネットワーク代表）  
西川将人さん（旭川市長）※予定
  - ③記念講演…14：15～15：15  
演題「野生のサケ・その魅力を探る」  
講師：小宮山英重さん（野生鮭研究所長）
  - ④シンポジウム…15：20～17：00  
テーマ「石狩川・野生のサケ回復の課題」  
基調提案：木村義一さん（北海道サーモン協会代表）  
コーディネーター：寺島一男（大雪と石狩の自然を守る会代表）  
パネリスト  
有賀 望さん（札幌市豊平川さけ科学館学芸員）  
瀬川拓郎さん（旭川市博物科学館副館長）  
長坂晶子さん（北海道立総合研究機構北海道林業試験場研究主任）  
山田直佳さん（日本釣振興会北海道地区支部道央副支部旭川代表）  
関口隆嗣さん（大雪と石狩の自然を守る会事務局次長）  
意見交換
  - ⑤閉会あいさつ…谷山翔二（さけサポーターの会世話人）

- 概要：市民オープン行事  
時間…18:00～20:30  
会場…花月会館 3F 羽衣の間  
会費…4000円
- 内容：ショートトーク「サケとアイヌ文化」  
川村兼一さん（チカップニ・アイヌ文化保存会会長）  
スピーチ・交流

- 概要：市民オープン行事  
時間…8:15～9:30  
集合…JR 旭川駅北口コンコース 8:00～8:15  
参加費…無料  
申込み…不要（当日参加者で実施）  
持ち物…長靴 or しっかりした履き物・防寒ウェア・帽子・手袋・雨具（傘）  
飲み物・双眼鏡（ある人）など。
- コース：駅北口→氷点橋→忠別川左岸→神楽橋→忠別川右岸→駅北口（解散）
- ガイド：さけサポーターの会メンバー
- その他：雨天（小雨でも）中止

- 概要：市民オープン行事  
時間…9:30～14:00  
集合…JR 旭川駅エスタ前（宮下通）9:15～9:30  
定員…30名（定員になり次第締め切ります）  
参加費…2500円（小学生1500円 交通費・保険代・資料代）
- コース：エスタ前→忠別川・ポン川合流点（25万尾放流地点）→東神楽浄水場堰→神居古潭（昼食）→旧花園頭首工魚道（右岸旧魚道）→旧花園頭首工（左岸新魚道）→エスタ前（解散）
- 申込み…11月1日まで。  
氏名・性別・年齢・住所・連絡先を記入の上郵送 or FAX で。  
渡辺辰夫〒070-8047 旭川市忠和7条6丁目5-3  
電話・FAX：0166-61-3355
- 持ち物：しっかりした履き物（長靴）・防寒ウェア・帽子・手袋・雨具（傘）昼食（各自）  
飲み物・双眼鏡（ある人）など。
- その他：雨天決行

## 会場・ツアー集合場所概略図



## 【報告事項】

### 1. '11年度 活動報告 ('10. 10. 30～'11. 10. 31)

月 日	事 項	主 な 内 容
'10/ 1. 1	NL 18号	新年挨拶、サケ会議要録
2. 17	NL 19号	会員便り：日釣振
3. 25	NL 20号	事務局便り
3. 28	NL 21号	会員便り：旭川守る会
4. 7	NL 22号	会員便り：旭川守る会・サーモン協会
4. 13	NL 23号	会員便り：さけますセンター日釣振
6. 1	NL 24号	季節の便り：下覧権、千歳ふるさと館 とかちサケの会、恵庭サケの会、旭川守る 会、標津サケ館、北海道サーモン協会
6. 12	NL 25号	HPリニューアルのお知らせ
6. 13	NL 26号	HOパスワード
8. 30	会報 5号	
9. 2	NL 27号	季節の便り：旭川守る会、千歳ふるさと館、 サーモン協会。新会員紹介
10. 13	NL 28号	ネット総会、サケ会議のお知らせ

NL： ニュースレター

## 2. 会員の異動

9月に、北海道大学名誉教授・阿部周一氏が入会。会員名を「北海道大学水産学部名誉教授」として登録。

## 【協議事項】

### 1. '10年度会計報告

《収入の部》

(円)

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
繰 越 金	43,006	51,771	
会 費	48,000	63,000	11会員
寄 付	0	0	
収 入 計	91,006	114,771	

《支出の部》

	予算額	決算額	摘要
手数料	2,000	1,090	
通信料	5,000	5,100	
消耗品費	2,000	2,150	
会議費	10,000	13,700	
会報費	20,000	0	
予備費	52,000	0	
支出計	91,006	22,040	

次年度繰越金 114,771 - 22,040 = 92,731

2. '10年度会計監査報告

北海道サケネットワークの平成22年度（平成22年1月1日から平成22年12月31日まで）の会務ならびに会計の収支決算書について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処理されていると認めます。

平成23年2月14日

監事

石黒武彦

監事

鼻和彦生

3. '11年度予算執行状況・中間報告

(1) '11年度繰越金の補正

2010年度総会承認の'11年度予算に対する繰り越し見込額は47,771円であったが、決算額は92,731円となった。主因は、会費見込み（5団体）が大幅に増加（11団体）したこと、および、予備費の支出を抑えることが出来たことによる。（'11.2.14 会監査済み）

(2) 執行状況

《収入の部》

(円)

科目	'11年度予算	9月末の収入額	決算見込額
前期繰越金	47,771	92,731	92,731
会費	42,000	3,000	42,000
寄付	0	0	0
合計	89,771	95,371	134,731

《支出の部》

① 支出済み額 ('11/1~10) (円)

科 目	11年度予算額	9月末の支出額	備 考
手 数 料	2,000	1,980	
通 信 料	5,000	6,520	
消 耗 品 費	2,000	1,450	
会 議 費	10,000	5,620	
会 報 費	0	0	
予 備 費	70,771	15,480	ワードソフト購入
① の 計	89,771	31,050	

② 支出見込額 ('11/11~12) (円)

項 目	予算費目	支出見込額	備 考
旅 費	以下未整理	15,000	事務局2名
会 場 費		10,000	総会々場
負 担 金		5,000	会費等
予 備 費		50,000	
② の 計		80,000	
合 計		111,050	

'12年度繰越金 134,731 - 111,050 = 23,681

4. '12年度活動計画並びに'12年度予算案

(1) '12年度活動方針

- ① 情報交換の促進
  - ・ホームページの充実と利用の促進
  - ・PC利用の促進
- ② 会報6号およびニュースレターの発行
  - ・会員の情報提供の活性化
  - ・NL「季節の便り」への参加促進

## (2) '12年度予算案

### 《収入の部》

(円)

科 目	11年度予算額	12年度予算額	増 減
前期繰越金	47,771	23,681	15,910
会 費	42,000	42,000	0
寄 付	0	0	0
合 計	89,771	65,681	-24,090

### 《支出の部》

(円)

科 目	11年度予算額	12年度予算額	増 減
手 数 料	2,000	2,000	0
通 信 料	5,000	5,000	0
消 耗 品 費	2,000	2,000	0
会 議 費	10,000	10,000	0
会 報 費	0	0	0
予 備 費	70,771	46,681	-24,090
合 計	89,771	65,681	-24,090

## 5. その他

### 【'11年度役員】

代 表	浦野明央	北海道大学・名誉教授
副 代表	寺島一男	大雪と石狩を守る会・代表
事務局長	木村義一	北海道サーモン協会・代表
幹 事	市村政樹	標津サーモン科学館・学芸員
幹 事	山道正克	日本釣振興会北海道地区支部・副部長
幹 事	千葉養子	とちち・帯広サケの会・会長
監 査	山口洋一	えにわ市民サケの会・会長（11年会長異動）
監 査	石黒武彦	水産総合研究センター北海道区水産研究所 (11年名称変更)



## 【'11年度会員名簿】

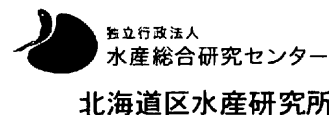
	一般会員	特別会員
1	えにわ市民サケの会	北海道立総合研究機構 さけます内水面水産試験場
2	とかち・帯広サケの会	水産総合研究センター 北海道区水産研究所
3	大雪と石狩の自然を守る会	千歳サケのふるさと館
4	北海道サーモン協会	標津サーモン科学館
5	丸水札幌中央水産株式会社	札幌市豊平川さけ科学館
6	高橋水産株式会社	北海道大学理学院名誉教授
7	佐藤水産株式会社	北海道大学北方生物圏フィールド 科学センター
8	日本釣振興会北海道地区支部	北海道大学水産学部名誉教授
9	石狩川下覧櫓	札幌市東白石小学校
10	網走漁業協同組合	札幌市環境部みどりの推進部
11	長万部漁業協同組合	十勝エコロジーパーク財団
12	十勝エコロジーパークガイドの会	
13	十勝自然再生協議会準備会	
14	標津漁業協同組合	

## 北海道サケネットワーク会議参加者名簿

No.	氏名	所属	総 会	市民の 夕べ	交 流 会	う ま じ ち ん ぐ	探 訪 ツ ア ー	備 考
1	有賀 望	札幌市豊平川さけ科学館	○	○	○	○	○	パネリスト
2	有賀 誠	明治コンサルタント(株)		○				
3	石黒 武彦	水産総合研究センター	○	○				
4	石原 正茂	さけサポーターの会		○		○		
5	伊藤 洋満	水産総合研究センター		○				現況報告
6	今村 知子	一般参加者				○	○	
7	氏家 亘	大雪と石狩の自然を守る会		○		○		
8	浦野 明央	北海道大学院理学研究院	○	○	○	○	○	メッセージほか
9	大島 利雄	大雪と石狩の自然を守る会		○			○	
10	小川 和弘	北海道サーモン協会	○	○	○	○	○	
11	川村 兼一	チカップニアイヌ文化保存会			○			ショートトーク
12	加藤 千善	大雪と石狩の自然を守る会		○				
13	木村 義一	北海道サーモン協会	○	○	○	○	○	基調提案ほか
14	北島 惇二	忠別川の自然を親しむ会	○	○	○	○	○	
15	草野 光明	大雪山講座ひぐま大学					○	
16	久住 タケシ	一般参加者				○		
17	沓沢 克嘉	大雪と石狩の自然を守る会		○	○			
18	久保 英樹	一般参加者				○		
19	河内 良明	大雪と石狩の自然を守る会				○	○	
20	小原 勇一	とかち・帯広サケの会	○	○	○			
21	小宮山 英重	野生鮭研究所		○	?			記念講演講師
22	齊藤 眞	さけサポーターの会	○	○	○	○	○	
23	鹿野 誠一	一般参加者			○		○	
24	柴田 恵美子	大雪と石狩の自然を守る会		○				
25	鈴木 紘一	さけサポーターの会		○				
26	瀬川 拓郎	旭川市博物館		○				パネリスト
27	関口 隆嗣	大雪と石狩の自然を守る会		○	○	○	○	パネリスト
28	高野 克子	旭川森と川ネット 21					○	
29	高橋 寿一	北海道サーモン協会	○	○	○	○	○	
30	高畑 一夫	北海道サーモン協会	○	○	○	○	○	

31	高原一記	さけサポーターの会		○	○	○	○	
32	田中敏子	さけサポーターの会		○				
33	田中弘子	大雪と石狩の自然を守る会		○				
34	谷山翔二	さけサポーターの会		○	○		○	
35	千葉よう子	とがち・帯広サケの会	○	○	○			
36	寺島一男	大雪と石狩の自然を守る会	○	○	○	○	○	コーディネータ
37	出羽寛	突哨山の自然を考える会		○	○		○	
38	戸島あかね	大雪山講座ひぐま大学				○		
39	長坂晶子	北海道林業試験場		○	○			パネリスト
40	長坂有	大雪山講座ひぐま大学		○	○			
41	中山満雄	さけサポーターの会					○	
42	西井堅二	ジャーナリスト		○	○		○	
43	西畑智光	大雪と石狩の自然を守る会		○	○			
44	野田勇	大雪と石狩の自然を守る会		○	○			
45	華輪雄	大雪山講座ひぐま大学		○	○			
46	平田一三	旭川森と川ネット 21		○		○		
47	福島聡	読売新聞成田支局		○			○	
48	舟橋健	大雪と石狩の自然を守る会		○		○	○	
49	細川広子	大雪と石狩の自然を守る会		○		○	○	
50	松本ヒロユキ	一般参加者				○	○	
51	松本ユキエ	一般参加者				○	○	
52	松本(小学生)	一般参加者				○	○	
53	三浦恵美子	旭川森と川ネット 21					○	
54	三浦栄	さけサポーターの会		?	○			
55	宮崎美知代	旭川森と川ネット 21				○	○	
56	森山雪洲	さけサポーターの会				○	○	
57	山田直佳	日本釣振興会北海道地区支	○	○	○	○	○	パネリスト
58	山田伸廣	大雪山講座ひぐま大学		○		○		
59	渡辺辰夫	大雪と石狩の自然を守る会	○	○	○	○	○	マネジメント
計			14	42	27	29	32	

## 会員情報



### 1 さけますセンターの改組（北海道サケネットワーク会報 2011年8月 第5号）

北海道区水産研究所（釧路市桂恋）と統合。札幌庁舎（札幌市中の島）を本所とし、さけます関係の研究開発等を行う「さけます資源部」を同庁舎内に設置。北海道内15か所のさけます事業所のうちモニタリング及び技術普及のみを行っていた3か所を廃止。

### 2 東日本大震災さけます復興支援活動

（北海道サケネットワーク会報 2011年8月 第5号）

3月11日に発生した東日本大震災によるさけますに関する被災等については会報で掲載。会報（第5号）でもお知らせしているとおり、水研センター復興・再生現地推進本部（東北区水産研究所：宮城県塩釜市）内に設置された現地対策チーム（さけますふ化放流チーム）としては、

① 5月に被災ふ化場の第一実態調査を、6月に被災ふ化場4か所の井戸能力パイロット調査を実施。岩手、宮城県及び県増協協会には調査報告と技術的な助言・提案を行うとともに、岩手、宮城両県主催の生産体制再構築検討会（第一次補正予算）等に出席

② 岩手、宮城両県増協に対するふ化槽の無償貸与

③ ①の井戸能力パイロット調査結果を受け塩水による卵発生確認試験を実施。宮城県及び南三陸町には調査試験の報告と技術的な助言を実施

④ 11月に被災ふ化場の復旧状況等把握のための第二次実態調査を実施予定など、2012年春の確実な放流実施を目指した支援活動を継続中。

現在のところのサケふ化事業の復旧状況（放流数）については、岩手県で3億尾強（2009年春の75%）、宮城県で5千万尾強（同75-90%）、福島県で1千万尾程度（2010年春の20%）の見込み。詳細は以下を参照。

[http://www.fra.affrc.go.jp/eq/tohoku\\_salmon.html](http://www.fra.affrc.go.jp/eq/tohoku_salmon.html)

### 3 千歳川上流域のサクラマス保護について

千歳川上流域のサクラマスについては、北海道や千歳市による公的な保護措置は講じられなかったが、千歳市の市民団体や北海道の釣団体等の協力で2010年以降混乱なく推移。2010年5月に設立した「千歳川上流域保護対策協議会」は、2011年5月に協議会の規約や役員等を決定し、正式に自然観察会や河川清掃を通じての保護活動を開始。千歳市は市条例による「自然環境保全地区」の拡大につき調整中。

（構成員）

代議員（＝会員）：ふるりの自然を考える会、千歳の自然保護協会、

しこつ湖自然体験クラブ＊トウレップ、千歳市民の飲み水を守る会

オブザーバー（＝協力団体）：北水研（千歳さけます事業所）、蘭越町内会、

（社）日本海さけ・ます増殖事業協会、千歳市